

平成 30 年度

大学院医学系研究科
保健学専攻
(博士前期課程)

学生募集要項

信州大学では、平成 30 年 4 月より大学院博士課程の教育改革（改組）の実施を予定しており、現在、文部科学省に設置許可申請中です。

それに伴い、大学院医学系研究科保健学専攻（博士前期課程）も、平成 30 年 4 月より、**大学院医学系研究科保健学専攻（修士課程）**に改称を予定しております。

※上記の内容は、予定であり、変更する場合があります。

信州大学

信州大学大学院受入れの方針

信州大学大学院は、以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- ・知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- ・深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
- ・社会・環境・国際問題に関心を持ち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
- ・職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻（博士前期課程） 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【教育・研究の理念】

医学系研究科保健学専攻（博士前期課程）は、高い倫理観と豊かな人間性を有し、高度な専門的知識・技術と、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力、国際的な視野を持つ高度専門保健医療職者を育成することを基本理念とします。

精神的・身体的・社会的な側面から人間を全人的な存在としてとらえ、保健・医療・福祉に関する教育・研究の成果を社会に還元することにより、健康保持と疾病や障害の予防・治療、医療安全に広く貢献し、人類の幸福と福祉の向上に寄与する保健学を構築します。

【教育・研究上の目標】

- （１）高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を備えた人材を育成します。
- （２）保健・医療・福祉の現場において研究を推進できる人材を育成します。
- （３）国際的な共同研究や活動に参画できる人材を育成します。
- （４）保健・医療・福祉の実践現場で働く有職者の研究活動を活性化します。

【入学者受入方針】

医学系研究科保健学専攻（博士前期課程）では、以下のような学生を求めます。

- （１）高い倫理観と豊かな人間性を有し、人類の幸福と福祉の向上に熱意のある人
- （２）科学的思考による問題解決能力を有し、国際的視野で物事を考えることができる人
- （３）高度専門職業人として、地域社会の保健・医療・福祉に貢献する意欲のある人
- （４）保健・医療・福祉の領域において、指導的役割を担う意欲のある人
- （５）将来、保健学における教育者・研究者を志望する基礎学力と熱意のある人

1. 専攻及び募集人員

専攻	分野・領域	学域	学位	募集人員
保健学 (博士前期課程)	看護教育学・基礎看護学 成人・老年看護学 母子看護学 地域・国際・精神看護学	看護教育学 基礎看護学 成人看護学 老年看護学 高度実践看護師 (周麻酔期看護師) コース 小児保健・看護学 リプロダクティブ・ヘルス看護学 地域・国際看護学 精神看護学	修士 (看護学)	14 人
	検査技術科学	病態血液検査学 生体分子情報検査学 感染制御検査学 組織細胞病態検査学 神経免疫分子科学	修士 (保健学)	
	理学・作業療法学	運動器・スポーツ理学療法学 障害予防理学療法学 運動機能障害学 高次機能障害学 生活支援作業療法学 精神作業療法学	修士 (保健学)	

2. 出願資格

保健学専攻（博士前期課程）には、次のいずれかに該当する方が出願できます。

- (1) 大学（修業年限4年以上）を卒業した方又は平成30年3月までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方又は平成30年3月までに授与される見込みの方
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した方又は平成30年3月までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方又は平成30年3月までに修了見込みの方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は平成30年3月までに修了見込みの方
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は平成30年3月までに修了見込みの方
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した方であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方で、平成30年3月31日までに22歳に達するもの
- (10) 大学に3年以上在学した方又は平成30年3月までに大学に3年以上在学する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

- (11) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した方又は平成 30 年 3 月までに修了する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (12) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した方又は平成 30 年 3 月までに修了する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (13) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は平成 30 年 3 月までに修了する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

3. 出願資格の審査

『2. 出願資格（8）～（13）』により出願しようとする方は、事前に担当係と指導を希望する教員に問い合わせのうえ、次の手続を行い、出願資格の審査を受け、認定された後に出願してください。

(1) 出願資格認定申請書類受付

受付期間 平成 29 年 7 月 10 日（月）～7 月 14 日（金）（郵送の場合は簡易書留郵便とし、受付期間内に必着とする。）

受付時間 9 時～17 時

提出先 〒390-8621 松本市旭 3 丁目 1 番 1 号
信州大学医学部大学院係

(2) 申請書類（※印は本研究科所定の用紙）

①出願資格（9）に該当する方

※出願資格認定申請書 （様式 9）	必要事項を記入してください。
最終学歴に関する証明書	卒業（修了）証明書及び成績証明書 （短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科を卒業（修了）した方は、短期大学又は高等専門学校の卒業（修了）証明書及び成績証明書を併せて提出してください。）
最終学歴の学校に関する資料	入学資格、卒業（修了）要件、修業年限が記載されている資料
学修に関する資料	履修要覧、科目等履修生等の成績証明書、学会発表・論文発表等の業績

②出願資格（8）、（10）～（13）に該当する方

※出願資格認定申請書 （様式 9）	必要事項を記入してください。
在学証明書又は在学期間証明書	出身学部（大学院）の長が証明したもの
成績証明書	出身学部（大学院）の長が証明し、厳封されたもの
推薦書	学科主任、指導教授等が作成したもの（様式任意）
学修に関する資料	履修要覧等

(3) 資格審査

出願資格審査は、提出された申請書類により在学年数、取得単位等を基に行います。

(4) 結果通知

審査の結果は、平成 29 年 7 月 28 日（金）に本人あてに通知書を送付します。出願資格を認定された方は、出願手続を行ってください。

4. 出願手続

(1) 出願受付期間

- ・窓口の場合

平成 29 年 8 月 1 日 (火) ~10 日 (木) 及び 8 月 17 日 (木) ~18 日 (金)

受付時間 9 時~17 時 (ただし, 土曜日及び日曜日は受け付けません。)

- ・郵送の場合

簡易書留郵便とし, 出願期間内 (8 月 1 日 (火) ~18 日 (金)) に必着とする。

(2) 出願書類等提出先

〒390-8621 松本市旭 3 丁目 1 番 1 号

信州大学医学部大学院係

(3) 出願方法

「(4) 出願書類等」を一括して郵送又は持参してください。なお, 郵送の場合は, 封筒の表に「大学院保健学専攻博士前期課程入学願書在中」と朱書きし, 必ず簡易書留としてください (出願期間内必着)。出願書類受理後, 受験票を本人あてに送付します (8 月 21 日以降に発送)。

(4) 出願書類等 (※は本研究科所定の用紙)

※入学志願票 (様式 1)	必要事項を記入してください。
※履歴書 (様式 2)	高等学校卒業から現在に至る経歴 (国家試験合格を含む。) を年次に従い, もれなく記入してください。
※受験票・写真票 (様式 3)	写真 (出願日前 3 か月以内に撮影した, 縦 4 cm×横 3 cm, 上半身, 無帽, 正面向きのもの) をそれぞれに貼り付けてください。
※志望理由書 (様式 4)	本研究科を志望する理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
※受験承諾書 (様式 5)	志望する分野・領域の担当教員が作成したもの
※受験及び修学承諾書 (様式 6)	入学後も引き続き勤務する所属組織がある場合は, 所属の長が作成したもの
※宛名票 (様式 7)	合格通知書等の送付先を記入してください。
※外国人留学生申請書 (様式 8)	外国人志願者のみ提出してください。
卒業 (見込) 証明書	出身学部の長が証明したもの (中途退学者は, 退学証明書又は在学期間証明書を提出してください。) (本学医学部出身者は不要) 出願資格 (2) による出願者は, 大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与 (見込) 証明書を提出してください。
成績証明書	出身学部の長が証明し, 厳封されたもの (本学医学部出身者は不要)
※入学検定料納付確認書 (A 票)	① 入学検定料 30,000 円をこの募集要項に添付する振込依頼書 (C 票) を使用して, <u>平成 29 年 7 月 25 日 (火) から 8 月 18 日 (金) までの間に金融機関から電信扱いで振り込んでください。振込みには, 別途振込手数料が必要です。なお, ゆうちょ銀行からの振込みはできません。</u> また, ATM (現金自動預支払機), 携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。 ② 振込み後, 納付確認書 (A 票) 及び領収書 (B 票) を受け取り,

	<p>A票, B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し, 納付確認書 (A票) を提出してください。</p> <p>また, 「取扱金融機関収納印」欄に, 平成29年8月18日 (出願期間最終日) までの日付の収納印があるものに限り有効となりますので, 特に出願期間最終日に振り込む場合には, 金融機関の窓口の受付時間を確認のうえ, 振込みを行ってください。</p> <p>③ 出願期間最終日に持参により提出する方で, 金融機関の窓口業務取扱時間内までに振込みができなかった方についてのみ, 現金による納付を受け付けます。</p>
受験票送付用封筒	<p>長形3号 (120mm×235mm) の封筒に郵便番号, 住所及び氏名を明記して82円分の切手を貼ってください。(出願する自身で封筒を用意してください。)</p>
「住民票の写し」又は「パスポート」のコピー	<p>外国人志願者のみ提出してください。現に日本国に在住し, かつ, 「在留カード」又は「外国人登録証明書」をお持ちの方は, 「住民票の写し」(居住している市区町村長が発行するもの) 1通を提出してください。</p> <p>それ以外の方は, 「パスポート」のコピー (氏名, 国籍, 生年月日, 性別が記載された部分及び日本国査証の部分) を提出してください。</p>
日本語能力試験又は日本留学試験成績通知書	<p>外国の大学等を卒業 (修了) した外国人志願者のみ提出してください。公益財団法人日本国際教育支援協会実施の日本語能力試験 (N1) 又は独立行政法人日本学生支援機構実施の日本留学試験 (日本語) の成績通知書の写しを提出してください。(原本は, 受験当日持参のこと。)</p>

5. 選抜方法等

入学者の選抜は, 筆答試験 (外国語 (英語)), 面接の結果及び出願書類等を総合して行います。

- (1) 筆答試験については, 辞書 (医学用語辞典を含む。) の持ち込みを可とします。ただし, 電子辞書及び辞書機能をもつ電子機器類は不可とします。

試験日時・場所

期日	時間	試験科目等	試験場
平成29年 9月30日 (土)	10:00~11:30	外国語 (英語)	信州大学医学部 保健学科 ※詳細は受験票送付時に通知します。
	13:00~	面接	

6. 合格発表

平成29年10月5日 (木) 10時

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻掲示板に掲示するとともに, 同日中に合格者に対し合格通知書を発送し, 公式発表とします。また, 信州大学大学院医学系研究科ホームページに合格者の受験番号を発表しますが, 必ず合格通知書又は掲示板で確認願います。

なお, 電話やメール等での合否のお問い合わせには応じられません。

7. 入学手続

合格者は, 次により入学手続を行ってください。なお, 詳細については合格通知書に同封

してお知らせいたします。

(1) 入学手続期間

平成 29 年 10 月 10 日 (火) ~10 月 16 日 (月)

受付時間 9 時~17 時 (ただし、土曜日及び日曜日は受け付けません。)

(2) 入学手続場所

信州大学医学部大学院係

(3) 入学料の納入等

①銀行振込により所定の入学料を納入してください。

②既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

③入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度 (授業料のみ) があります。

(4) 手続に当たっての注意事項

入学手続締切り期日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。

8. 障害等のある方の事前相談

本学に入学を志願する方で、障害等のために、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願の前に信州大学医学部大学院係へご相談ください。

9. 注意事項

(1) 本研究科に入学を希望する方は、あらかじめ志望する研究分野・領域の担当教員と研究内容等について相談のうえ、出願してください。

(2) 受理した出願書類及び検定料は、どのような理由があってもお返しできません。また、提出後の記入事項の変更は認めません。なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった (出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった) 場合は、本人の請求により納入された検定料 (二重に振り込んだ場合は重複して納入された分) の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ (入学検定料返還手続) をご覧ください。

(http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/return.html)

(3) 出願手続後、現住所又は緊急連絡先に変更が生じたときは、速やかに信州大学医学部大学院係に連絡してください。

信州大学大学院医学系研究科

〒390-8621 松本市旭 3 丁目 1 番 1 号

電話 (0263) 37-3376 (直通)

信州大学大学院医学系研究科ホームページ

<http://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/>

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻（博士前期課程） 入学案内

1. 標準修業年限 2年 ※

※【長期にわたる教育課程の履修】

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは、最長で4年間、その計画的な履修が認められることがあります。

2. 履修方法・修了要件

本研究科において2年以上在学し、看護学分野については必修科目12単位、選択科目18単位以上、検査技術科学分野については必修科目14単位、選択科目16単位以上、理学・作業療法学分野については必修科目12単位、選択科目18単位以上、合計30単位以上（高度実践看護師（周麻酔期看護師）コースにあつては、専攻共通科目及び看護学分野の専門科目から、実習10単位、演習4単位、特別の課題研究4単位を含む必修科目38単位、選択科目8単位以上の合計46単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査（高度実践看護師（周麻酔期看護師）コースの場合は、課題研究の成果の審査）及び最終試験に合格しなければなりません。

3. 学位授与

看護学分野では修士（看護学）、検査技術科学分野及び理学・作業療法学分野では修士（保健学）の学位が授与されます。

4. 高度実践看護師（周麻酔期看護師）コース

保健学専攻（博士前期課程）では、周麻酔看護に特化した高度実践看護師（周麻酔期看護師）の養成コースを開設しています。

周麻酔期分野で、看護の専門性を高めたいと考えている方の入学を歓迎します。

なお、本コースへの出願は、看護師免許を有し、手術室（準ずる領域の場合は、志望する研究分野の担当教員又は大学院係に相談）で3年以上の看護経験を有することが望ましい。

5. 入学料・授業料

入学料 282,000円

授業料（前期）267,900円（後期）267,900円

金額は平成29年4月現在のもので、入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、合格通知書に同封しお知らせします。

6. 奨学金制度

日本学生支援機構から大学院学生に対する奨学金制度があります。

貸与額は月額50,000円と88,000円（第一種奨学金 平成29年度）から選択できます。

また、この選考は学業成績及び研究能力、家庭の経済的事情等を考慮して行われます。

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻（博士前期課程） 研究案内

※ 各メールアドレスの後の「shinshu-u. ac. jp」を省略してあります。

専攻	分野	領域	担当教員 メールアドレス	内容
保健学	看護学	看護教育学・ 基礎看護学	松永 保子 ymatsun@	[専門領域] 看護教育学, 基礎看護学 [研究内容] 看護ケアの質の向上のために, 看護基礎教育及び 継続教育における教育方法と評価について探求する。また, クライアントへの教育的支援能力を高めるための教育プログ ラムの開発から評価までの過程に関する研究を行う。
		成人・老年看護学	深澤 佳代子 kafukasa@	[専門領域] 成人看護学 [研究内容] クリティカル・ケア看護のマネジメント, 周手術 期看護, 災害急性期看護, 看護の経済的評価, 患者安全に関 する研究
			池上 俊彦 tikegami@	[専門領域] 外科学, 地域医療 [研究内容] 肝移植を受けた患者における QOL 改善のための 研究や病診連携・病病連携に関する研究
			會田 信子 aida@	[専門領域] 老年看護学 [研究内容] 1) 高齢者ケア実践・技術に関する研究, 2) 高齢 者ケアに従事するスタッフの心理・社会的課題に関する研究, 3) 老年看護学における教育方法や課題に関する研究, 4) 多 職種連携教育の方法論と評価に関する研究
			伊澤 淳 izawa611@	[専門領域] 循環器内科学: 動脈硬化, 心不全, 高血圧 [研究内容] 心血管疾患の発症予防 (一次予防), 地域の自治 体および医師会との連携による疫学研究: 青少年の生活習慣 病予防, 歯周疾患と全身疾患の関連について
		母子看護学	坂口 けさみ ksakagu@	[専門領域] リプロダクティブ・ヘルス看護学 [研究内容] 周産期における安全性と快適性に関する研究を 中心に行っている。具体的には, 母と子, 父と子および親と 子の絆の形成メカニズムに関する実験的研究や, 妊娠・分娩 に伴う臨床的排泄機能に関する研究など。
			市川 元基 mtichik@	[専門領域] 小児医学 [研究内容] 小児の発達神経学, 神経免疫学に関する研究を行 っている。

保健学	看護学	母子看護学	金井 誠 makotok@	[専門領域] 周産期医学, 地域医療, 臨床遺伝 [研究内容] 妊娠高血圧の病態解明と発症予知に関する研究, 早産回避の治療に関する研究, 地域における産科医療提供体制維持に関する研究, 出生前診断に関する研究
			平林 優子 ykehraba@	[専門領域] 小児看護学 [研究内容] 慢性疾患, 医療的ケアが必要な子どもの療養行動発達支援, 障害を持つ子ども, 医療的ケアが必要な子どもの在宅ケアなど
			玉井 真理子 mtamai@	[専門領域] 臨床心理学, 生命倫理学 [研究内容] 周産期における親子関係構築に対する心理的援助, 遺伝医療における臨床心理学的介入の実際, 出生前診断と中絶をめぐる生命倫理, 重症新生児の選択的治療停止問題と生命倫理, ニューロエシックス, ほかに生命科学技術関連の倫理問題全般
	地域・国際・精神看護学		奥野 ひろみ hiromiok@	[専門領域] 地域看護学・国際看護学 [研究内容] 国内外のプライマリ・ヘルス・ケア, ヘルスプロモーション活動に関する研究, 保健師のソーシャル・キャピタルに関する研究, 保健師の力量形成, 研修に関する研究
			下里 誠二 sshimos@	[専門領域] 精神看護学 [研究内容] 精神科における攻撃性とその看護に関する研究, 司法精神看護における評価に関する研究, 精神障害者のリハビリテーションとその看護に関する研究を行っている。
			五十嵐 久人 higaras@	[専門領域] 地域・公衆衛生看護学 [研究内容] 生活習慣の実態把握や生活習慣改善に向けた支援に関する研究, QOL に関する研究, 労働者のメンタルヘルスに関する研究を行っている。
			山崎 浩司 hryamazaki@	[専門領域] 死生学, 医療社会学, 質的研究 [研究内容] 死別体験者に支援的なまちづくりの検討 (長野県・中信地方の有志市民との協働), いのちがテーマのマンガを題材にした死生学的考察, 若年配偶者死別の研究にとりくんでいる。また, 修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (M-GTA) を中心に, 質的研究法に関する研究も行なっている。

保健学	検査技術科学	病因・病態 検査学	<p>太田 浩良 hohta@</p>	<p>[専門領域] 診断病理学（消化管病理），組織化学 [研究内容] ヘリコバクター感染により惹起される消化管粘膜病変の病態解析および消化管粘膜への分化を示す腫瘍（胃腸型腫瘍）の組織発生と診断について，組織化学的方法論を中心に，分子生物学的な方法論等も取り入れ研究を行っている。</p>
			<p>藤本 圭作 keisaku@</p>	<p>[専門領域] 呼吸機能検査学，睡眠検査学，呼吸器内科学 [研究内容] 主に気管支喘息，慢性閉塞性肺疾患などの閉塞性肺疾患及び睡眠呼吸障害の病態を種々の呼吸機能検査機器，生体モニタ装置，画像解析，バイオマーカーを駆使して解明すると共に，企業との共同研究により新しい生体モニタ及び検査機器の開発・検証を行っている。</p>
			<p>奥村 伸生 nobuoku@</p>	<p>[専門領域] 臨床化学，遺伝子検査学，免疫検査学，臨床検査学 [研究内容] 臨床検査値に異常を来たすフィブリノゲン異常症・欠損症において，機能異常を解明するためにリコンビナントタンパクを作製し，また，欠損原因を解明するために分子生物学的な方法で研究を行っている。さらに，医学部附属病院臨床検査部と共同で各種血漿蛋白異常症・欠損症の蛋白検査・遺伝子検査による同定を行っている。</p>
			<p>石田 文宏 fumishi@</p>	<p>[専門領域] 血液学，血液検査学 [研究内容] 血液腫瘍性疾患，特に悪性リンパ腫を対象に，遺伝子異常と臨床病態の関連を明らかにするための研究を行っている。また，血液細胞形態や血栓止血領域での新規検査法開発を目指した研究を行っている。</p>
			<p>長野 則之 naganon@</p>	<p>[専門領域] 薬剤耐性菌制御学，感染制御学，病原微生物学 [研究内容] 新生児や高齢者の B 群レンサ球菌侵襲性感染症の第一選択薬であるペニシリンに耐性を獲得したペニシリン低感受性 B 群レンサ球菌の分子学的解析を行っている。また，世界的な蔓延が懸念されている薬剤耐性グラム陰性桿菌を中心に薬剤耐性メカニズムの解析や分子疫学的解析および病原性解析などを行っている。</p>
			<p>矢崎 正英 mayazaki@</p>	<p>[専門領域] 神経内科学，代謝学，蛋白化学 [研究内容] アミロイドーシスの新規診断法開発。微小生検組織からのアミロイド蛋白の解析法の確立と病態解析への応用。</p>
			<p>日高 宏哉 hiroyan@</p>	<p>[専門領域] 臨床検査医学（臨床化学），代謝学（脂質代謝異常） [研究内容] 脂質代謝機序の解明およびリポ蛋白・脂質代謝異常症の分析法の開発と病態解析法の研究を行っている。また，リポ蛋白・脂質代謝検査の臨床栄養や健康診断への有用性評価の研究を行っている。</p>

保健学	検査技術科学	病因・病態 検査学	小穴 こず枝 koana@	[専門領域] 感染制御学, 病原微生物学, 薬剤耐性菌制御学 [研究内容] 雨水を有効活用するために設置されている家庭用雨水貯留槽中の雨水による健康被害回避のために, 雨水の細菌学的汚染実態の調査解析を行い, 貯留槽中の従属栄養細菌やレジオネラ属菌の制御法について研究を行っている。また, 薬剤耐性菌について薬剤耐性メカニズムの解析・分子疫学的解析・病原因子解析などを行っている。
		理学療法学		木村 貞治 tkimura@
			大平 雅美 mohira@	[専門領域] 糖尿病の運動療法, 呼吸理学療法, 生活習慣病予防・治療のための運動療法, 高齢者の運動療法 [研究内容] 臨床現場や地域で活用できる, 健康体力・活動能力の客観的簡易評価法に関する研究, 生活習慣病の運動療法および高齢者の生活機能維持を目的とした介入方法の研究等のデータを基に, 生活習慣や加齢に由来する呼吸・循環・代謝系障害の予防・治療, 生活機能の維持・改善に結びつく理学療法の研究を行っている。
			横川 吉晴 fhakuba@	[専門領域] 健康科学, 公衆衛生学, 高齢者に対する理学療法 [研究内容] 高齢者の障害の発生の遅延, 活動能力の保持を目的として, 農村部を対象として縦断的に調査, 介入を行い, その評価の研究を行っている。
			Goh Ah Cheng gohac@	[専門領域] 運動器疾患の理学療法, 臨床的推論, 臨床運動学, 物理療法 [研究内容] 物理療法の基礎研究(動物試験)および物理療法の効果(臨床的な研究)の研究を行っている。
			百瀬 公人 kmomose@	[専門領域] 運動学, 呼吸循環の理学療法, 急性期の理学療法 [研究内容] 1) 3次元動作解析装置, 筋電図, 床反力計, 加速度計などを用いた健常者および障害者の動作解析, 2) 呼吸・循環器障害の治療における理学療法とその効果, 3) 中枢神経系疾患における急性期の理学療法のありかた, 4) 理学療法の評価法などに関する研究を行っている。
	機能障害学		寺田 信生 nobuot@	[専門領域] 蛋白複合体からみた生体の構造解析;解剖学-組織学-細胞生物学 [研究内容] 細胞の接着やシグナル伝達に関わる, 細胞膜内~膜骨格における構成蛋白を同定する。それら蛋白複合体の, 生体機能を反映した局在や蛋白間の相互関係さらに個体レベルでの機能を検討しながら, 人体における役割を明らかにする。そのために形態学・細胞組織化学・生化学・分子細胞生物学の基本的手技を修得して自由に使えるようにし, さらに顕微鏡によって可視化する解析法の開発も行う。

保健学	理学・作業療法学	機能障害学	杉山 暢宏 nsugi@	[専門領域] 精神医学, 神経内分泌学, 性差医学 [研究内容] うつ病, 躁うつ病の発症メカニズムを, 神経内分泌学的な視点から研究している。特に女性ホルモンの神経系への作用に注目して, 医学部精神医学教室や医学部附属病院精神科と共同で検討している。
			青木 薫 kin29men@	[専門領域] 整形外科学, リハビリテーション医学, 骨軟部腫瘍医学, バイオマテリアル開発 [研究内容] 1) 整形外科・リハビリテーション・骨軟部腫瘍の臨床研究, 2) 骨軟部腫瘍の治療法の開発, 評価, 3) 整形外科領域新規バイオマテリアルの開発, 生体安全性評価などについての研究を行っている。
		作業療法学	小林 正義 mkobaya@	[専門領域] 精神障害作業療法学, 精神障害リハビリテーション学, 認知行動科学 [研究内容] 1) 精神障害の早期リハビリテーション・早期作業療法・地域生活支援技術に関する研究, 2) 統合失調症とうつ病の認知行動療法に関する研究, 3) 自動車運転技能に関連する認知行動評価に関する研究, などを行っている。
			上村 智子 tkamimu@	[専門領域] 作業療法学, 生活支援科学, 高齢者のリハビリテーション [研究内容] 脳卒中や認知症疾患などの加齢性疾患を有する人のリハビリテーションプログラムの開発と標準化の研究を行っている。研究対象は福祉用具や住宅改修と動作学習を組み合わせたプログラムとプログラムの成果評価の開発である。入院・入所から在宅へのスムーズな移行と在宅生活の継続を促すシステム構築に資する研究を行う。
			務台 均 hitmutai@	[専門領域] 身体障害作業療法学 [研究内容] 1) 脳卒中や整形疾患に対するリハビリテーションの効果や長期予後に関する研究, 2) 脳卒中に合併する精神症状, 疲労および認知機能障害に関する研究

この募集要項に関する照会先

信州大学医学部大学院係

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

TEL 0263 (37) 3376 (直通)

FAX 0263 (37) 3080

信州大学大学院医学系研究科ホームページ

<http://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/>

※個人情報の利用について

信州大学における入学試験を通して取得した個人情報については、入学試験のほか次の目的のために利用します。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。